

仕訳問題 下記の取引について仕訳処理を書きなさい。

- ① 藤堂製菓株式会社は、建設中であった営業用店舗が完成したため、店舗の引渡しを受け、工事代金の残額 1,000,000 円のうち 600,000 円と登記料 50,000 円については現金で支払い、残りの 400,000 円については翌月末に支払うこととした。なお、この店舗の工事に対しては、工事代金の一部としてすでに 2,000,000 円を前払いしている。

- ② 決算にあたって、税引前当期純利益 1,000,000 円の 40%を法人税、住民税および事業税に計上した。なお、250,000 円については、当期中に中間納付をしている。

- ③ 得意先石田商店が倒産し、同店に対する売掛金 200,000 円が回収不能となったため、貸倒れとして処理する。回収不能となった同店に対する売掛金のうち、120,000 円については前期の販売から生じたもので、残額については当期の販売から生じたものである。なお、貸倒引当金の残高は 150,000 円である。

- ④ 当社は、株主総会において、繰越利益剰余金からの配当 2,000,000 円と新築積立金の積立て 1,000,000 円を行うことを決議した。なお、株主総会直前における株主資本の残高は、次のとおりであった。
 - 資本金：8,000,000 円
 - 資本準備金：1,300,000 円
 - 利益準備金：450,000 円
 - 新築積立金：1,000,000 円
 - 繰越利益剰余金：5,000,000 円

⑤ 当社は、ハイパーメディアクリエイターズ㈱を吸収合併し、新たに当社の株式 200 株(時価:@10,000 円)を同社の株主に交付した。同社から承継した資産及び負債は、次のとおりである。なお、株式の交付にともなって増加する株主資本は、すべて資本金とする。

- 現金(帳簿価額:3,000,000 円、時価:3,000,000 円)
- 貸付金(帳簿価額:2,000,000 円、時価:2,000,000 円)
- 備品(帳簿価額:1,000,000 円、時価:1,100,000 円)
- 買掛金(帳簿価額:5,000,000 円、時価:5,000,000 円)

⑥ 淑徳物産株式会社は、増資にあたって 1 株につき 40,000 円で新株を発行した。ただし、定款に記載されている発行可能株式総数は 2,000 株であり、会社設立時に 500 株発行していたので、今回は発行可能な株式数の上限まで発行し、その全株式について引受け・払込みを受けた。払込金は当座預金とし、会社法における最低限度額を資本金に計上した。なお、増資のために要した手数料 1,000,000 円については、現金で支払った。

⑦ いりなか商店を現金 10,000,000 円を買収した。なお、買収時のいりなか商店の資産・負債は、売掛金 7,000,000 円、商品 5,000,000 円、および買掛金 3,000,000 円であった。

借方科目 金額 貸方科目 金額 建物 3,050,000 現金
未払金
建設仮勘定 650,000
400,000
2,000,000

借方科目 金額 貸方科目 金額 法人税等 400,000 仮払法人税等
未払法人税等 250,000
150,000

借方科目 金額 貸方科目 金額 貸倒引当金
貸倒損失 120,000
80,000 売掛金 200,000

借方科目 金額 貸方科目 金額 繰越利益剰余金 3,200,000 未払配当金
利益準備金
新築積立金 2,000,000
200,000
1,000,000

借方科目 金額 貸方科目 金額 現金
貸付金
備品
のれん 3,000,000
2,000,000
1,100,000
900,000 買掛金
資本金 5,000,000
2,000,000

借方科目 金額 貸方科目 金額 当座預金

株式交付費 60,000,000

1,000,000 資本金
資本準備金
現金 30,000,000
30,000,000
1,000,000

借方科目 金額 貸方科目 金額 売掛金
仕入
のれん 7,000,000
5,000,000
1,000,000 買掛金
現金 3,000,000
10,000,000